

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度第2回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		令和3年3月13日(土)～3月28日(日)				
出席者	委員	11人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	6人(渡邊所長 他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため				
会議次第		1 開会(書面会議のため省略) 2 会長挨拶(書面会議のため省略) 3 議題 (1) 令和2年度事業報告について ア 利用状況について イ 活動状況について ウ アンケート結果について (2) 令和3年度事業計画について ア 運営方針について イ 利用計画について ウ 主催事業、地域連携、他課との連携計画について (3) その他 5 閉会(書面会議のため省略)				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(協議を書面会議で行った理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一堂に会することが困難であったため、会長と協議し、第1回と同じように書面により意見を提出していただくことにより会議を開催することとしたもの。

「3議題」について、委員から次の意見が提出され、事務局から回答を行った。

(: 委員意見、 事務局見解)

アンケートの結果(特に自由記述)のなかで課題として把握された点については、過去のものを集約して予め学校側の担当教諭に示しておくことで事前に想定した手立てを考えられるかもしれません(既にやっているかもしれませんが。)

より良い学習機会を提供していくために、前もって過去の課題を担当教諭に提供し、それを踏まえて学習プログラムを構築していくことが重要と考えます。令和3年度の担当教諭との打合せ時には、アンケート結果からの注意点を説明し、一緒に検討していきたいと思います。

ホームページの若あゆとやませみ両方を見ると、若あゆのプログラム例など、とても充実しているが、やませみでも同じようにできるものがある。やませみのホームページにもこのようなプログラム例をやると、利用者は分かりやすいのではないか。プログラム例については、利用者が目的に沿ってプログラムを作成する際に参考になるようホームページ上に掲載しています。やませみの利用者に対しても同様に掲載すべきと思いますので、やませみ版の作成を検討してまいります。

1日も早くこの状況が収束し、子ども達の元気な声が響き渡る施設に戻ることを願っている。いままで通りの運営は難しいと思うので、状況に合わせて運営も変化しなくてはならないと思う。

教育活動に影響が生じないよう、また、安全・安心に小・中・義務教育学校等の児童生徒を受け入れられるよう、新型コロナウイルス感染対策を講じ、慎重に受入れを行ってまいりました。

青少年団体については、結果的に令和2年度の受入れは出来ませんでした。緊急事態宣言が解除したこともあり、7月から受入れに向け準備を進めています。引き続き、新型コロナウイルス感染予防に最大限の配慮を行いながら、運営を行ってまいります。

施設内の地震、火災、風水害の避難経路の概要について、協力員にも知らせてほしい。施設においては、地震、火災、風水害、不審者対応のそれぞれの訓練を行っています。指定管理者及び職員(看護師などの会計年度任用職員含む)を対象にしています。訓練参加のため活動協力者の方々を拘束することは今のところ検討していませんが、年度当初に行われる活動協力者講習会で、避難経路の確認を行い、危機管理対策マニュアルを配付、説明を行うことで、災害時はどのような行動をとるべきかお伝えしていきたいと思います。

若あゆ、やませみ共にアンケート P13、P21 * 体験活動について講師の方々の指導について、差があるとの回答があった。初めて会う方に強い口調でいろいろ言われてしまうと、その後の活動にも影響が出てくると思う。熱心にされるのは分かるが、関わりの中での大人の対応は、もう一度、講師の方々に共通理解での話し合いを希望する。今の子ども達はメンタルも弱い子どもが多いので、昔と今の違いはお伝えした方が良いのではと思う。

体験活動における講師の対応について、指導に差があってはいけないと思います。年度当初に行われる活動協力者講習会で、指導における注意点を伝えし、共通理解を図ると共に状況に応じて指導してまいります。今後も学校のアンケート等をフィードバックし、よりよい体験活動の指導が行われるよう努めてまいります。

その他のご意見

新型コロナ禍の大変な状況の中、可能な範囲の活動を見極め、安全に配慮しながら一年を乗り切られたことは、今年度の大きな成果であると思います。教室と関係者の皆様に感謝いたします。

新型コロナウイルス感染防止策を講じながらの運営は大変だと思いますが、学習指導要領特別活動にある遠足(旅行)・集団宿泊的行事の狙いを達成するには、若あゆややませみを利用することが適していることがわかりました。

以 上

野外体験教室運営協議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考
1	福井 智紀	麻布大学	会長
2	大神田 由香里	もえぎ台小学校	
3	小畑 弘文	青和学園	
4	福田 豊	相模原市子供会育成連絡協議会	
5	近藤 和彦	相模原市スポーツ少年団	
6	笹野 茂	下大島地区ふれあい農業組合	
7	佐藤 輝美	活動協力者	
8	中里 健	大島観光協会	副会長
9	松石 藤夫	活動協力者	
10	鈴木 洋子	公募委員	
11	瀬間 一美	公募委員	